

科目名		授業形態	担当教員名	
視能検査学Ⅰ		講義・演習	荒木 渚	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
視器の各部位の検査を学ぶ。				
授業の到達目標				
①視器の正常構造と生理機能を理解した上で各種眼科検査機器での検査意義が説明できる。				
②正常者の検査が正しく行える。				
③患者に対し、分かりやすい検査説明ができる。				
④授業範囲に関連する国家試験の問題を解くことができる。				
授業計画				
回	内容			
1	角膜検査 角膜曲率半径			
2	角膜検査 角膜形状解析装置			
3	角膜検査 角膜知覚・角膜厚検査			
4	角膜検査 角膜内皮細胞検査			
5	角膜検査①【演習】			
6	角膜検査②【演習】			
7	眼球突出検査			
8	眼圧検査①			
9	眼圧検査②			
10	眼球突出検査／眼圧検査①【演習】			
11	眼球突出検査／眼圧検査②【演習】			
12	涙液検査①			
13	涙液検査②			
14	まとめ			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	70%			
レポート・課題	30%	演習レポートにより理解度と表現力を評価する。		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
視能学 第3版		小林義治 他編	文光堂	
眼科検査ガイド 第3版		根木昭 監修	文光堂	
視能学エキスパート 視能検査学 第2版		和田直子 他編	医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				